

- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ



# 学びの広場

**阿仁文化交流のつどい**  
**阿仁公民館** ☎82・2220  
 演示日時 11月3日(日) 9時30分～15時  
 展示期間 11月2日(土)、3日(日) 9時～15時  
**会場** 阿仁ふるさと文化センター  
**内容** ステージ発表、作品展示  
**出演** 阿仁地区保育園、小学校、中学校／北秋田市祇園太鼓阿仁弁天／ハラウフラ・ハク・レイ／講座演劇／阿仁鏡菜会／文化筆さくら会／日舞藤蔭流鳳扇会／講座リフレッシュ体操／オカラ・バル／藤根勇／阿仁民楽会／おとらくバンド／阿仁大正琴／カラオケ同好会／前田三味線同好会／阿仁パーカッションサークル／比立内獅子踊り保存会

**合川公民館定期講座子育て応援塾「かたづけ力の育て方」**  
**合川公民館** ☎78・2114  
 日時 11月11日(月) 10時～  
**会場** 合川公民館  
**講師** 田中紀子さん  
**定員** 15人(先着順、要予約)  
**申込締切** 11月5日(火)

**合川公民館短期講座「パソコン講座」エクセルで健康管理**  
**合川公民館** ☎78・2114  
 日時 11月14日(木)、11月21日(木)、11月28日(木) 10時～12時  
**会場** 上杉あいターミナル  
**講師** 田中俊生さん  
**定員** 先着10人  
**申込締切** 11月11日(月)

**English Cafe Vol.4 With 秋田大学生**  
**北教育事務所** ☎62・1217  
 留学経験のある大学生から直接英語学習の方法を学び、学習意欲を高めましょう。  
 日時 11月10日(日) 13時～15時30分  
**会場** 市民ふれあいプラザコムコム 研修室B・C  
**対象** 県北地区の高校生  
**定員** 10人／参加費無料

## 楽しく！ふり返りやすいノートテイク術

～コムコム定期講座「グッドライフ講座」～

コムコム定期講座「グッドライフ講座」が、9月25日に市民ふれあいプラザで行われ、受講生14人が参加し、振り返りやすいノートテイク術について学びました。

この日は、まちづくりファシリテーターやグラフィックレコーダーとして活躍している平元美沙緒さんを講師に迎え、学びの場でのメモノート、日記、会議録に役立つグラフィックレコーディング技法を学び、遊び心をもってノートを描くことに挑戦しました。

参加者たちは、枠や矢印、イラストなどを使うことで見やすくわかりやすいノートになることを学び、今後も習慣化していこうと話合っていました。



▲ノートテイク術について学ぶ受講生

## 遊びながら子育て相談!フローラルフェスタにて

～家庭教育支援ブースの設置～

北欧の杜の秋を楽しむ「フローラルフェスタin北欧の杜」が9月15、16日に開催されるなか、市家庭教育支援チーム「にこっと」が、会場内に「子育て相談キッズコーナー」を設け、多くの親子連れで賑わいを見せました。

会場にはお手玉やけん玉、折り紙などの昔っこ遊びのほか、おもちゃの手づくりコーナーも用意し、訪れた方々は和やかな雰囲気の中、親子で遊びを楽しんだほか、日頃の子育てについて「にこっと」メンバーと語り合う場面も見られました。



▲手作りのおもちゃで遊ぶ親子

## 明るい街づくりに一役！市を花いっぱい!

～先進モデル花だんを研究視察～

北秋田市花いっぱい運動推進協議会と高鷹大学園芸クラブの「合同花だん研修視察」が9月13日に行われ、先進モデル花だんである五城目町の養護老人ホーム森山荘と富田千寿会の花だんを視察しました。参加者たちは、熱心に花だんの構成や手入れ方法などについて質問をしていました。

その後、秋田市雄和の秋田国際ダリア園を見学し、1.2ヘクタールの広大な敷地を彩る700品種7万本の色や形の違うダリアを鑑賞しながら、来年のガーデニングの参考にしようと話合っていました。



▲先進モデル花だんを視察する参加者たち

## 未来・紡ぎ人 17

今回は自身も現役マタギとして活躍中であり、市内外にマタギ文化を伝えている方を紹介します。

マタギ資料館で説明をする  
鈴木 英雄さん(阿仁担当)



### ◇狩猟をはじめたきっかけは？

代々のシカリ(マタギの棟梁の家系)だったので、マタギは生活の一部でした。祖父(辰五郎)もシカリで、狩猟中に不意を突かれ、クマに襲われたようです。その際に、身構えてクマの攻撃をよけたはずみで、そのクマは飛んでいったように見えたそうです。そのことから「空気の投げの辰」と呼ばれるようになりました。矢口高雄先生の「マタギ」にもシカリの「辰五郎」が登場します。

### ◇マタギの生活は？

狩りは残雪が残る時期に行います。帰ってくる農作業をして、秋にも巻狩りに行きました。狩りに出るときは、人の選抜はせずに集落で行ける人はみんな行きます。そして、クマを「授かったら、みんな平等に分けるといいうのが、基本でした。

祖父は山に入る時に、紋付はかまを着た時もありました。マタギは狩猟だけでなく、祭祀をしたり、山に対する意識が特別でした。

次号に続く